

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通株式会社	館山市街地循環バス 系統:循環 運行回数:6回/日 運賃:現金200円・ キャッシュレス決済160円	・運賃収入増加を目指し、利用者数の増に向けて広報活動を実施した結果、前年度と同等の乗客数となった。しかしながら、前年度に比べ車両リース料による経費が上昇し、収支率は悪化した。 ・運賃以外の収入を確保するため、車内広告枠の販売を行った。(R7:1件)	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	C 目標:令和7年度の1日当り乗車人数 45人/日 年間収支率15%以上 実績:32.1人/日 収支率6.39% 分析:EVバス導入による車両経費増のため、収支率は目標不達だが、乗客数は維持された。	・利便性向上及び、利用者増加を目的に運行経路や時刻表を見直すとともに、広報活動を実施する。 ・今後の運行維持を図るため、運賃の見直しなど、必要となる施策を検討・実施する。
鏡浦自動車株式会社	デマンド型交通「チョイソコ南房総・館山」 営業区域:南房総市富山地区の一部、三芳地区、館山市館野地区の一部、九重地区の一部 運行日:月・火・木・金・土 運行時間帯:8時30分～15時30分(13時～14時除く) 運賃:300円～700円	・定額乗車券や回数乗車券などのお得な乗車券の周知について、車内告知を中心に行った。このほか、利便性向上を図るため、乗降場所を2カ所増やした。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標:令和7年度の1日当り乗車人数 6人/日 実績:7.5人/日 分析:実証運行から継続して運行してきたことにより、定期的にご利用いただく方が増えてきたことによると考えられる。	・定額乗車券や回数乗車券などのお得な乗車券の周知を引き続き行い、定期利用者を増やしていく。 ・他エリアからの乗り継ぎ利用などモデル利用を作成し、周知を行い、利用者増へ繋げる。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	(協議会による一次評価の際は記入不要)
-------------------------	---------------------

## 事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月26日

協議会名:	南房総・館山地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>南房総・館山地域公共交通計画(令和3年8月～令和8年3月)の基本理念: 「地域住民の生活を守り、地域の活性化を図る社会基盤となる圏域一体型の公共交通ネットワークの実現」</p> <p>上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性: フィーダー交通の「館山市街地循環バス」は、館山市の中心市街地における買い物、通院等の地域の移動手段としての役割を担っている。また、同じく「チョイソコ南房総・館山」は、路線バスから転換し、デマンド型による地域内の移動手段の確保に繋がっている。いずれの運行も起終点の館山駅では、JR内房線、高速バス、地域間幹線系統に接続しており、より広域への移動も可能になる等の重要な役割も担っている。一方で、当地域は少子高齢化や人口減少が著しく交通事業者の運営努力や自治体の運営補助のみでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。</p>

# 令和7年度 南房総・館山地域公共交通活性化協議会（千葉県館山市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

## 地域の公共交通等の現況・課題

南房総市及び館山市内の公共交通の状況は、人口減少・少子高齢化や、自家用車での移動を前提としたライフスタイル等により、利用者の減少に歯止めがかからず、厳しさを増している。また、行政が公共交通の維持・確保のために負担する路線バス補助金等の財政支出も年々増大している。一方で高齢化率が40%を超え、自動車運転免許返納等により公共交通を利用する機会が増える人も増加傾向にある。既存バス路線は国道まで伸びておらず、比較的新しい商業地区等は長らく公共交通の空白地帯であった。その空白を埋める館山市街地循環バスは非常に重要な役割を担っている。

## 交通計画の基本的な方針／定性的な目標

- ①生活圏をともにする2市の移動需要を支える公共交通ネットワークの再構築
- ②地域輸送資源を総動員した、効果的で効率的な運行の実現
- ③交通結節点のサービス水準向上による、利用しやすい環境づくり
- ④観光ニーズに対応した魅力ある二次交通の整備
- ⑤地域自らデザインした地域主体の取組による持続可能な交通システムの導入
- ⑥公共交通をもっと利用してもらうための市民の意識改革と行動変容

## 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

- ・既存バス路線でのアクセスが困難な市街地の商業施設・医療機関等に行けるようにするため、館山市街地循環バスを実証運行していたところ、一定程度の効果が認められたことから、令和5年6月から本格運行を開始し、市広報や、市公式SNS等を活用し、利用促進の広報を実施。
- ・令和6年5月から、BYD社製電気バス「J6」を導入し、愛称の「かいまーる」をモチーフとしたラッピング車両で運行している。
- ・令和7年4月1日から、交通系ICカードでの決済が整備された。
- ・令和7年8月に、今後の運行の方向性を検討するにあたり、乗降調査を実施した。

## アピールポイント

- ・利用促進および市民から愛着を持ってもらうため、令和5年度に館山市街地循環バスの愛称募集を実施した。市内外から多数の応募があり、買い回るといふ意味と、房州弁で駆け回るといふニュアンスから着想を得たという「かいまーる」に決定し、愛称をモチーフとしたラッピングを車体に施している。
- ・令和7年4月現在、交通系ICカードでの決済が、その他キャッシュレス決済に加えて市内全路線に整備され、スムーズな乗降が可能となっている。

【協議第12号-3】

半島振興  
対策実施  
地域

面積	110.05 km <sup>2</sup>
人口（R7.4.1時点）	43,244人
15歳未満	3,617人
65歳以上	17,681人
高齢化率	40.9%

## 交通計画の計画期間

令和2年8月～令和8年3月

## 協議会開催状況

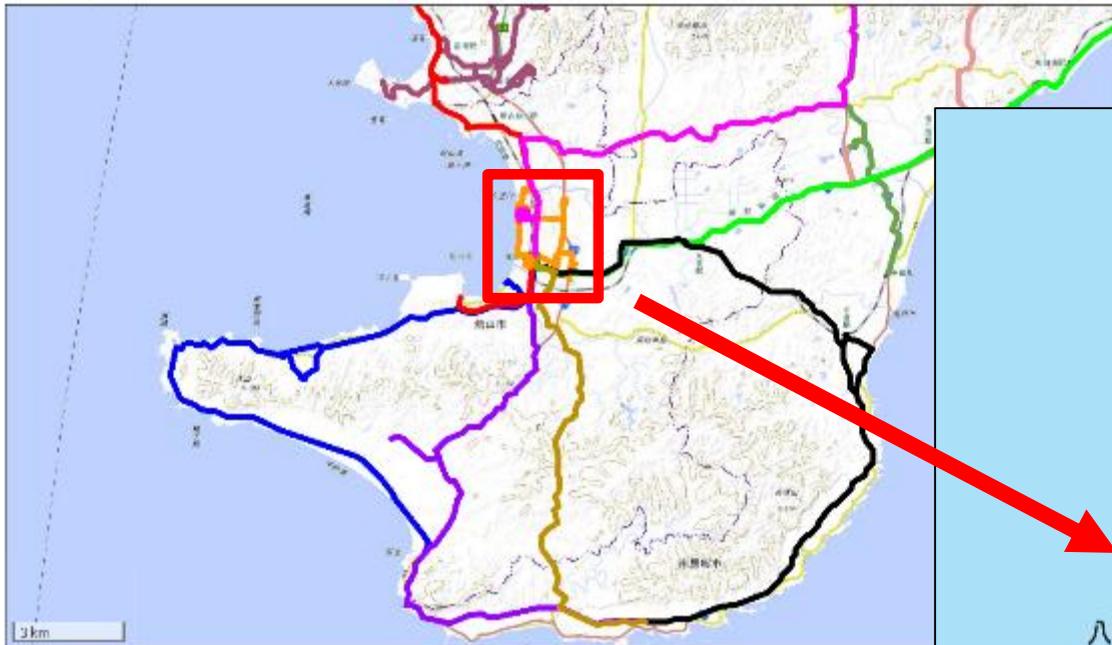
（令和7年度事業年度に係るもの）

- ・第1回（7年5月29日）  
令和6年度事業の実績報告について  
令和8年度地域公共交通計画認定申請書（フィーダー系統補助金）について  
地域公共交通計画別紙について
- ・第2回（7年9月17日）  
公共ライドシェアについて  
地域公共交通計画について
- ・第3回（令和7年11月25日）  
地域公共交通計画について
- ・第4回（令和8年1月26日）  
令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について



# 補助対象事業の運行系統図

地理院地図  
GSI Maps



出典：国土地理院地図に路線図を追記して掲載

# 補助対象事業の実績データ

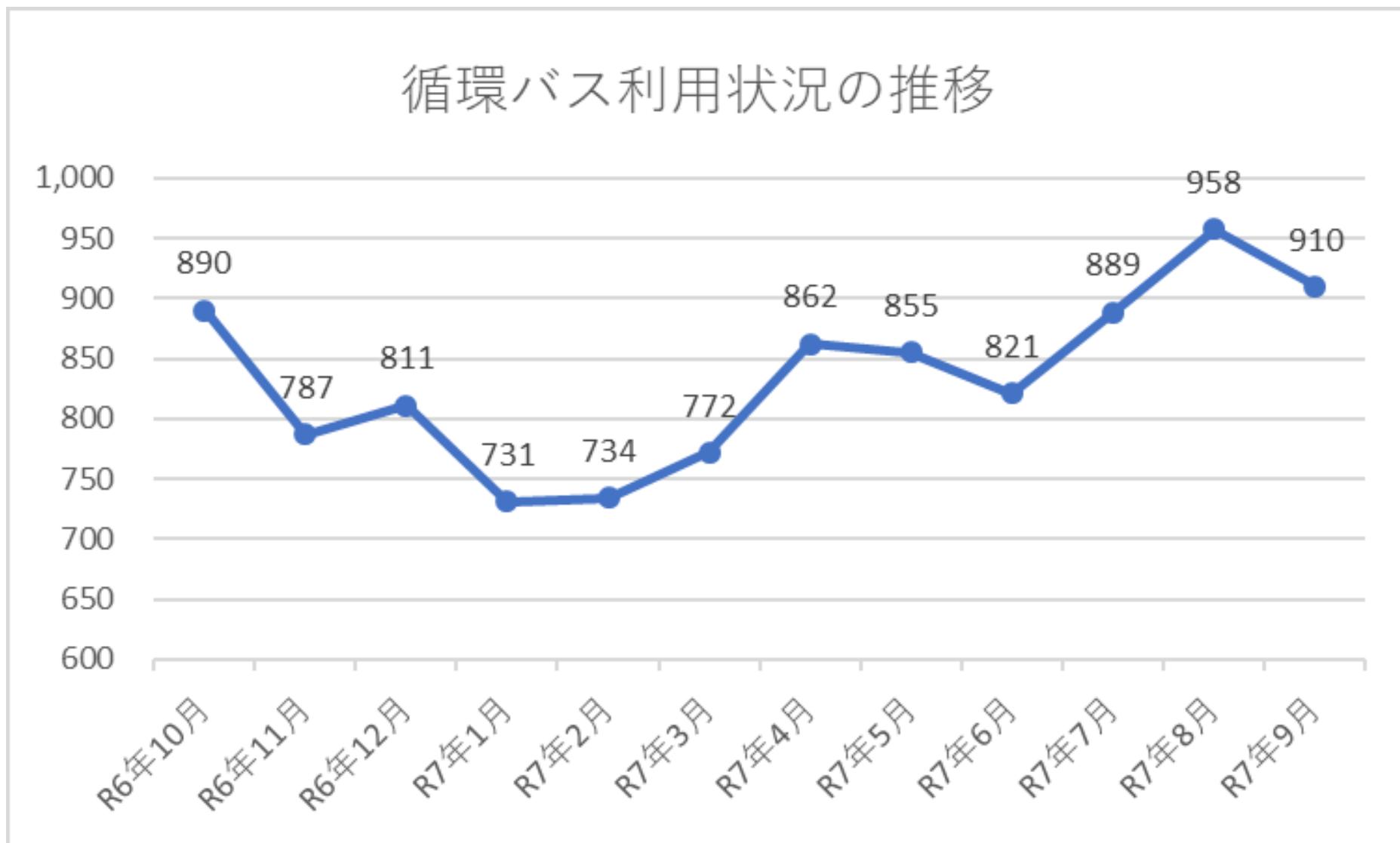
【R7年度フィーダー用】市街地循環バス利用状況

◇実績

	運行日数 (日)	運休日数 (日)	利用者数 (人)	1日平均 (人)	1便平均 (人)
R6年10月	26	0	890	34.2	5.7
R6年11月	26	0	787	30.3	5.0
R6年12月	26	0	811	31.2	5.2
R7年1月	26	0	731	28.1	4.7
R7年2月	25	0	734	29.4	4.9
R7年3月	26	0	772	29.7	4.9
R7年4月	26	0	862	33.2	5.5
R7年5月	27	0	855	31.7	5.3
R7年6月	25	0	821	32.8	5.5
R7年7月	27	0	889	32.9	5.5
R7年8月	26	0	958	36.8	6.1
R7年9月	26	0	910	35.0	5.8
<b>合計</b>	<b>312</b>	<b>0</b>	<b>10,020</b>	<b>32.1</b>	<b>5.4</b>

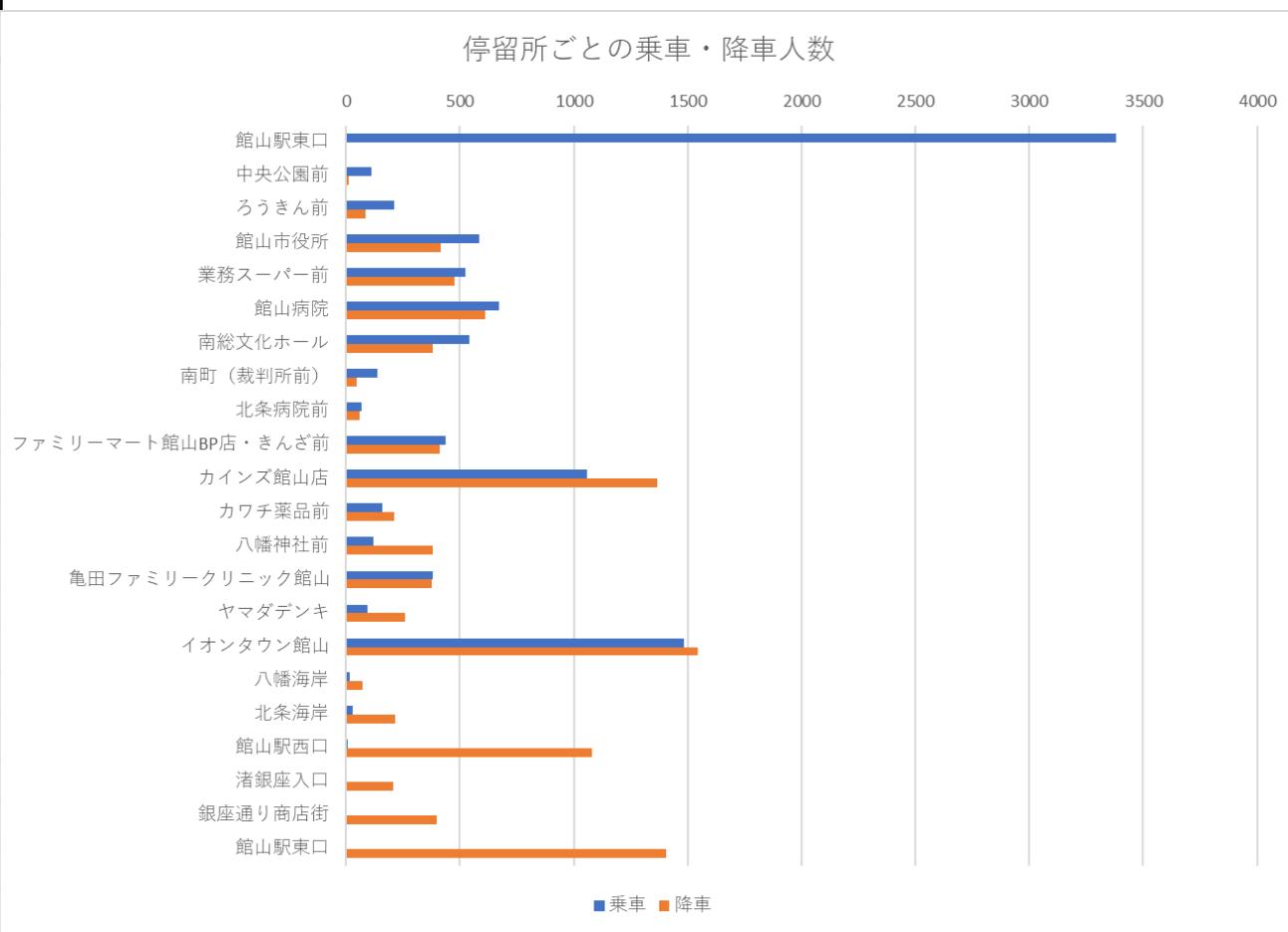
※令和7年7月30日(水)は津波警報により2便以降運休。

# 補助対象事業の実績データ



# 補助対象事業の実績データ

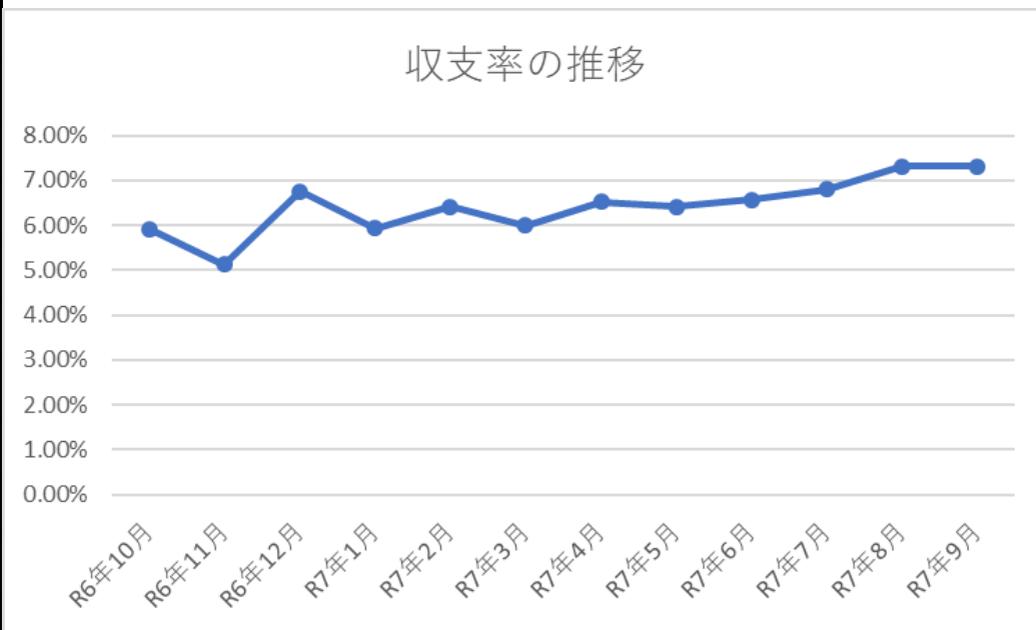
	停留所ごと合計	
	乗車	降車
館山駅東口	3381	0
中央公園前	112	12
ろうきん前	211	85
館山市役所	583	417
業務スーパー前	525	475
館山病院	671	610
南総文化ホール	541	382
南町（裁判所前）	138	46
北条病院前	70	60
ファミリーマート館山BP店・きんざ前	439	412
カインズ館山店	1057	1368
カワチ薬品前	160	213
八幡神社前	118	381
亀田ファミリークリニック館山	379	378
ヤマダデンキ	92	261
イオンタウン館山	1485	1543
八幡海岸	18	72
北条海岸	27	216
館山駅西口	8	1079
渚銀座入口	1	205
銀座通り商店街	4	400
館山駅東口	0	1405
<b>合計</b>	<b>10020</b>	<b>10020</b>



# 補助対象事業の実績データ

## ◇収支状況

	運賃収入	運行費用	収支率
R6年10月	166,359	2,809,733	5.92%
R6年11月	144,055	2,809,733	5.13%
R6年12月	154,919	2,293,967	6.75%
R7年1月	136,134	2,293,967	5.93%
R7年2月	142,966	2,230,797	6.41%
R7年3月	133,901	2,230,798	6.00%
R7年4月	152,834	2,341,772	6.53%
R7年5月	150,192	2,341,771	6.41%
R7年6月	151,756	2,309,879	6.57%
R7年7月	157,153	2,309,878	6.80%
R7年8月	168,932	2,309,879	7.31%
R7年9月	169,022	2,309,878	7.32%
合計	1,828,223	28,592,052	6.39%



# 利用促進の取組

- 令和7年4月から交通系ICカードの利用が可能になった。
- 市広報等での利用促進を図った。

# 令和7年度 南房総・館山地域公共交通活性化協議会（千葉県南房総市・館山市） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

## 地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

南房総市及び館山市内の公共交通は、人口減少・少子高齢化や自家用車での移動を前提としたライフスタイルへの変化等により、利用者の減少に歯止めがかからず、取り巻く状況は厳しさを増している。また、行政が公共交通の維持・確保のために負担する路線バス補助金等の財政支出が年々増大している状況にある。そのため生活圏をともにする南房総市及び館山市では、2市が連携し、効果的・効率的に公共交通の維持・確保に取り組むため、令和元年に合同の協議会を立ち上げ、利便性が高く持続可能な公共交通体系の形成を目的とする南房総・館山地域公共交通計画を令和3年に策定した。その計画の中で、「廃止代替バス路線の再編及び有効活用」や「フィーダー交通・補完交通の整備・活用促進」を施策に掲げ、当該エリアにおける公共交通の維持存続や更なる利便性向上を図るため、地域公共交通確保維持事業により、補助対象系統の「チョイソコ南房総・館山」の運行を行い、利便性向上を図るとともに、地域住民にとって必要不可欠な生活交通の維持存続に繋げる必要がある。

## 補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

当該系統は運行にあたり、予約運行システムを活用しており、乗降場所別の利用状況がわかるため、乗降場所によって利用頻度がわかる。そのため、利用しやすい環境づくりとして乗降場所の位置の変更等を検討する必要がある。  
活用しているデータ：チョイソコ南房総・館山の運行データ

## 定量的な目標

1日当たりの乗車人数 6.0人／日

## 目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

導入当初は、予約型の乗合送迎サービスのため、利用者が伸び悩んだが、継続的に広報活動を行い徐々に利用者も増え、目標値を達成することができた。また、定額乗車券や回数乗車券などのお得な乗車券を販売し、定期的な利用者の増進に繋がった。  
協議会では、当該地域のほかにもこの仕組みを広げるべく、実証運行を他の地域で行った。  
来年度は、他の運行エリアとの相互利用など利便性を高める検討を行い、双方の利用者増に繋がりたい。

## アピールポイント

居住地から商業施設や病院などへの生活に必要な移動手段の確保に努めるための乗降場所の設定や、交通空白地域へのエリア設定などを行っている。また、定期的な利用者を増やすため、定額乗車券や回数乗車券を企画・販売し、利用しやすい環境づくりに努めている。このほか、南房総市の福祉部局で発行している高齢者外出支援サービス（バス利用券）を、当該路線にも利用出来るよう連携している。



一部過疎指定

全域半島指定

一部山村指定

面積	340.2km <sup>2</sup>
人口（R7.4.1時点）	77,076人
15歳未満	6,031人
65歳以上	33,918人
高齢化率	44.0%

## 交通計画の計画期間

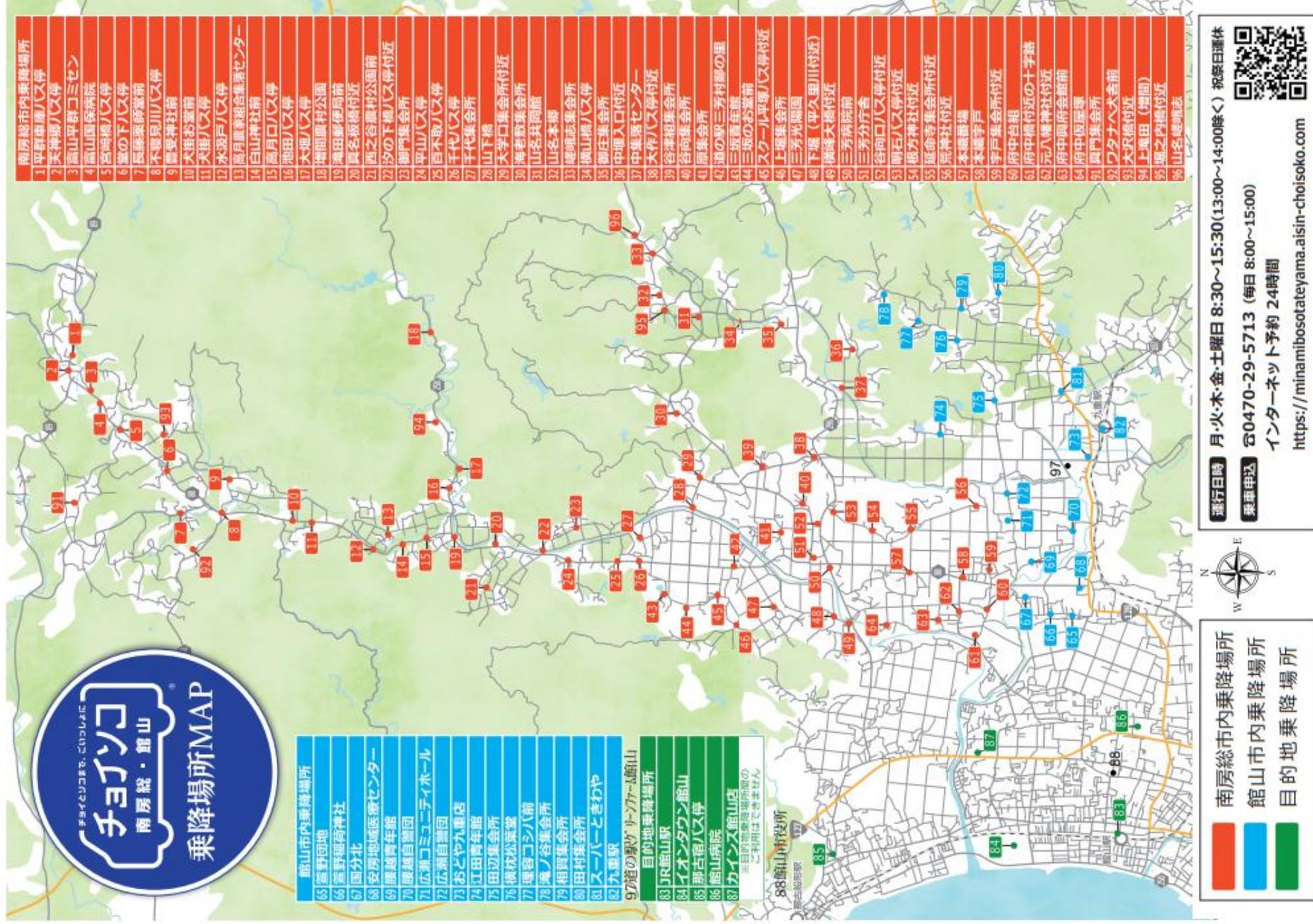
令和2年8月～令和8年3月

## 協議会開催状況

- ・第1回（令和7年5月29日）  
チョイソコ南房総・館山の実績報告  
令和8年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）の認定申請を協議  
館山市街地循環バスの実績報告
- ・第2回（令和7年9月17日）  
チョイソコ南房総・館山の実績報告
- ・第3回（令和7年11月25日）  
チョイソコ南房総・館山の実績報告
- ・第4回（令和8年1月26日）  
令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価を協議



# 補助対象事業の運行エリア図



# 補助対象事業の実績データ

【令和7年度期実績】

年	運行日数	運休日数	実績人数	1日平均
2024年10月	21	10	168	8.00
2024年11月	20	10	167	8.35
2024年12月	22	9	202	9.18
2025年1月	21	10	159	7.57
2025年2月	18	10	130	7.22
2025年3月	21	10	185	8.81
2025年4月	20	10	124	6.20
2025年5月	20	11	172	8.60
2025年6月	21	9	186	8.86
2025年7月	21	10	177	8.43
2025年8月	21	10	194	9.24
2025年9月	20	10	170	8.50

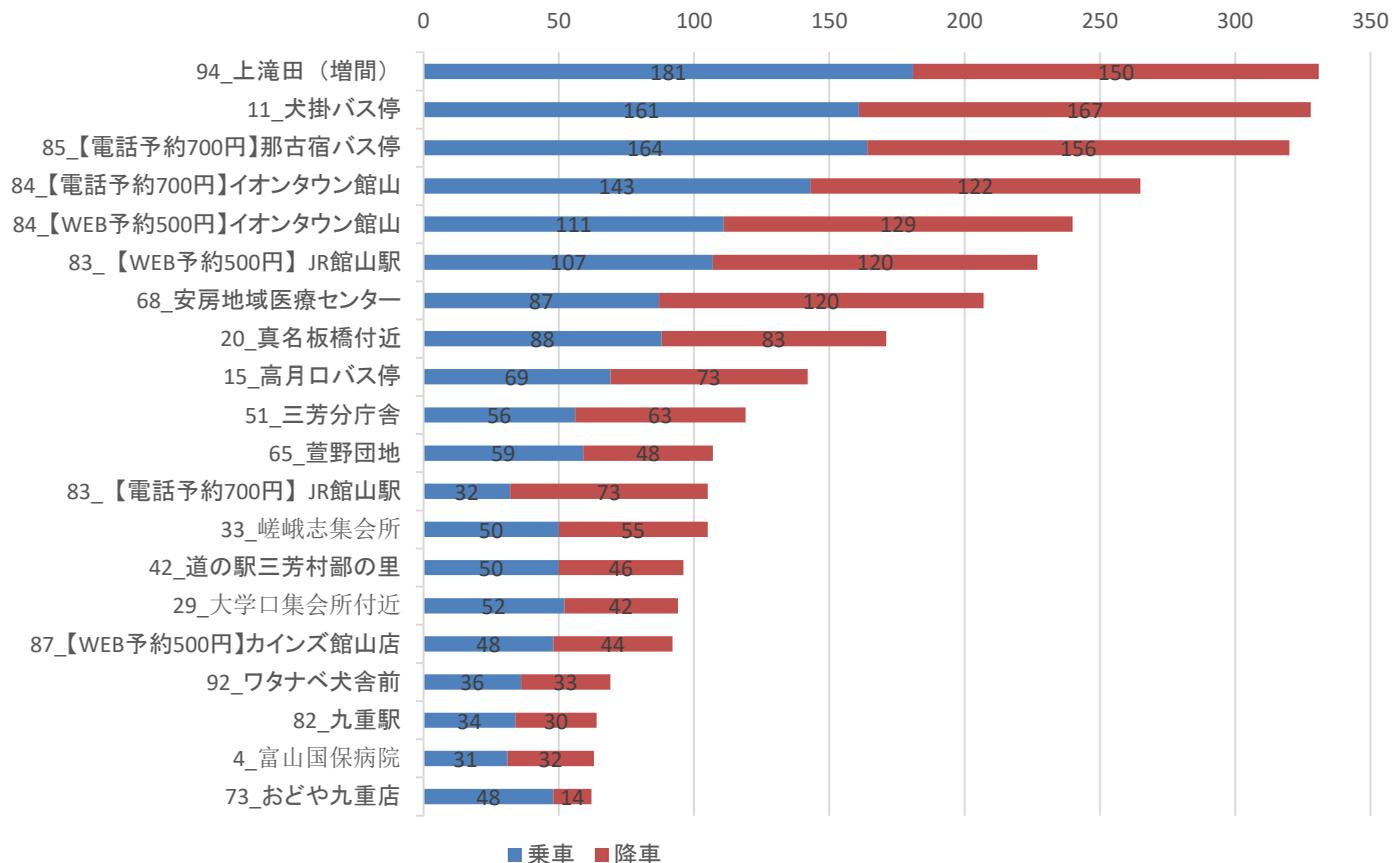
チヨイソコ南房総・館山 利用者推移



# 補助対象事業の実績データ

【令和7年度期乗降場所別実績】

乗降場所別利用者数(上位20か所)



【令和7年度期費用実績】

収入 551,400円  
費用 15,668,850円  
収支率 3.5%

# 利用促進の取組

チョイソコ南房総・館山のお知らせ

チョイソコ

## 定額乗車券

### 販売中!

1ヵ月券	4,500円
------	--------

確認事項

- ・当券は、チョイソコ南房総・館山のみにご利用できます。
- ・当券は、購入後の払い戻しはできません。
- ・当券は、購入日以降、1ヵ月間有効です。
- ・利用当日の降車時に乗務員に当券をご提示ください。
- ・有効期間内の乗車回数に制限はありません。

**ご購入は、乗務員にお申し出ください。**

●実証運行全体に関するお問い合わせ先：南房総・館山地域公共交通活性化協議会事務局  
南房総市役所企画財政課 ☎0470-33-1081・館山市役所企画課 ☎0470-22-3163

●予約・運行に関するお問い合わせ先：きょうほタクシー（受付） ☎0470-29-5713（8:00～15:00）

チョイソコ南房総・館山からののお知らせ

チョイソコ

## 回数乗車券

### 販売中!

1回350円10枚セット	1回700円10枚セット
2,800円	5,600円

確認事項

- ・当券は、「チョイソコ南房総・館山」または「きょうほタクシー」・「南房タクシー」にてご利用できます。
- ・当券は、購入後の払い戻しはできません。
- ・当券の有効期間は、令和6年3月31日です。
- ・利用当日の降車時に乗務員に当券をご提出ください。

**ご購入は、乗務員にお申し出ください。**

●実証運行全体に関するお問い合わせ先：南房総・館山地域公共交通活性化協議会事務局  
南房総市役所企画財政課 ☎0470-33-1081・館山市役所企画課 ☎0470-22-3163

●予約・運行に関するお問い合わせ先：きょうほタクシー（受付） ☎0470-29-5713（8:00～15:00）

- ・ 定期利用者確保に向けた定額乗車券及び回数乗車券を販売

※期間実績：定額31枚、回数13枚